

# 男女共同参画の日

●2015年11月8日(日)／総合保健福祉センター

いわき市では、男女共同参画のさらなる推進を図るため、平成23年4月1日に「いわき市男女共同参画推進条例」を施行し、11月の第2日曜日を「男女共同参画の日」と決めました。

今年度は、女性活躍推進フォーラムとして、講演会とパネルディスカッションを行いました。

また、川柳、イクメン・カジメンフォトコンテストの入賞作品の表彰と「いわき市男女共同参画推進シンボルマーク」の表彰、小学生が参加する「あそびばスタンプラリー」も市民ボランティアの協力のもと同時開催し、「男女共同参画」についての理解を深めました。

## いわき市男女共同参画推進シンボルマークが決定しました。

応募数は、「小学生・中学生の部」18点、「高校生以上の部」4点、合計22点の応募があり、厳正な選考の結果、小名浜東小学校2年 須永 優樹さんの作品に決定しました。決定した原案を基にデザイン化しました。

いわき市男女共同参画推進シンボルマーク



男女共同参画

## 講演会

## 仕事と「育児」・「介護」の両立に向けて



講師：山極 清子 (やまぎわ きよこ)さん

(株)wiwiw 社長執行役員・経済管理学博士  
プロフィール  
立教大学大学院ビジネスデザイン研究科特任教授を経て昭和女子大学客員教授。  
1995～97年に株式会社資生堂から21世紀職業財団に派遣される。復職後は1997～2009年まで資生堂本社人事部、経営改革室、CSR部の各次長などを歴任、女性活躍の推進、育児、介護との両立支援による働き方改革を行う。  
約1,000社の現場の声を基に、男女ともにキャリアと育児・介護を両立できるような制度設計や、生産性を向上させる働き方等を企業に提案している。



### □社会の動き

日本は高齢化が進み、今後5年以内で現在介護していない40歳以上の約8割に、親族を介護する可能性があります。また、晩婚化により、育児と介護が重なるため、女性の負担がさらに多くなることは避けられません。

### □女性活躍とワーク・ライフ・バランス

わが社ではこの5年間、午後6時には従業員を帰宅させ、家族との食事や趣味の時間を充実させるようにしています。短時間労働でも生産力を落とさないよう努力した結果、業績はとて上りました。ワークとライフを同じように充実させれば、個人の幸福感や生きがいが大きくなり、会社でも新しい価値あるものが作れるのです。企業業績や成長性の高い企業は、女性管理職比率の高い企業だと言えるのです。